

こぶし通信

Vol.62
2026.1



社会福祉法人こぶしの会

〒630-8424 奈良市古市町529-4

電話 0742-63-6765 FAX 0742-63-6766

e-mail/kokkara@kokkara.jp <http://kokkara.jp/>

発行責任者/坂下 伸一

Column

藤森善正後援会長とこぶしの会

社会福祉法人こぶしの会 理事長 坂下 伸 一

長くこぶし後援会の会長をして下さっていた藤森善正さんが、2025年7月に亡くなりました。心よりご冥福をお祈り致します。

藤森さんは、奈良教育大学附属中学校特別支援学級の教員として勤めておられましたが、「社会福祉法人こぶしの会」ができる以前、その前身の「かすが共同作業所」の設立当初から今日まで、一貫して「こぶしの会」を支えて下さいました。

藤森さんは、奈良県での障害のある人の教育・福祉の権利を保障する運動を一から創り出し、先頭にたって活動されてきました。すべてを語ることはできないので、ここでは、「こぶしの会」との関係に絞って書きます。

■「かすが共同作業所」ができるまで

「1988年2月、奈良市内の春日公民館に30名の有志が集まり、『障害者が働く共同作業所をつくる会』（つくる会）が発足した。前年の1987年12月に『作業所を作る会準備会』を発足させ、地域で障害者がおかれている実態や『共同作業所』についての学習を重ねながら準備を進めてきたものであった。……この当時、成人障害者の多くは施設に入所するか、在宅で過ごすかのどちらかでしかなかった。……他方では、養護学校義務制実施以後、養護学校卒業生の数は年ごとに増え、せっかく学校を卒業しても再び在宅になってしまうという保護者、学校関係者の悩みは切実であった。……特に障害の重い人、重複障害をもつ人、中途障害の人などが入所できる作業所は皆無といってよかった。」（「私の障害者運動史」藤森善正著）

この30名の中には、私もいたのですが、厳しい状況の中で、本当に共同作業所ができるのだろうかと懐疑的でした。しかし、藤森さん、前理事長の藤井正紀さんを中心とした大きな努力によって、1989年4月には「かすが共同作業所」が開所したのです。

■「社会福祉法人こぶしの会」ができるまで

1998年5月には「こぶしの会」総会で法人化構想を提案、「社会福祉法人設立準備会」が発足することになり、資金づくりや行政への働きかけへの努力が続けられ2001



年「社会福祉法人こぶしの会」が認可され、翌年4月「コミュニティワークこっから」が開所する運びとなりました。

「建物についても……延べ面積が広くとれる2階建てにするのか、利用する仲間の便宜を優先して平屋建てにするのかであった。……名前は、みんなで考えようと公募することにした。いろいろとあったが、奈良の障害者福祉は『ここから』始まるという意味で、指導員さんが応募した『こっから』が選ばれた。『っ』を『っ』に変えて『こっから』にしたのは私の提案であった。深い意味はないが、せっかくネーミングの意味が『こっから』では面白くないので、アクセントをつけたかったからである。」（前掲書）

このように、「社会福祉法人こぶしの会」「こっから」の設立にあたっては、みんなで、力を合わせ、創り出してきたといえます。その中心の一人が藤森さんでした。また、「こぶしの会」の最大の特徴は、いつも『障害者が主人公』をキーワードに、理事会、仲間自治会、職員の労働組合、家族会、後援会が力を合わせて取り組みを進めてきたことにある。」（前掲書）と語っておられます。このことは藤森さん自身の基本的な価値観であったのだと思います。

法人設立後、藤森さんは理事、評議員を歴任し、こぶし後援会長を2008年から今年まで続けて下さっていたわけです。物心両面でこぶしの会を支えて下さったといえます。

「こぶしの会」は、法人設立20年が過ぎ、四半世紀を迎えようとしています。仲間・家族の高齢化、社会環境の変化などで、新たな課題が生まれ、大きな転換期を迎えています。藤森さんの「仲間が主人公」「みんなが力を合わせる」「障害のある人が豊かに生きることのできる地域・社会」という願いを引き継ぎ、進んでいきたいと思っています。

※藤森善正著「私の障害者運動史」（自主出版）が残っています。読みたい方があれば、「こぶしの会」坂下まで連絡してください。



Topix

6月

1月



【ここから】
開所日 書初め

2月



【ここから】
奈良県原水協さんとの平和学習

3月



【ここから】
サークル活動 たこ焼きづくり

4月



【すたあと】 郡山城お城まつり

5月

【すたあと】
裏庭BBQ



【ぐうひま】
休日榛原の公園に



【ここから】
つながり祭



【ここから】
紙すき
ボーリング大会



【すたあと】
大阪プロレス



【すまいる2】
外食



7月

【すたあと】
はじめてのバーへ

【ここから】
紙すき
涼をもとめて



9月



【ここから】
活動班 自家製顔は
めパネル完成



【ここに】
おふさ観音



【ぐうぐう】
地域清掃



【ここに】
ひらかたパーク サンリオフェス

10月

【ここに】
鶴橋



【ここから】 パン工房 鴻池散歩



【すたあと】 ぼかぼか祭り



【すまいる】 花火



【ぐうひま】 花火

11月

【ここに】
難波散策



【ここから】 で・あい展見学

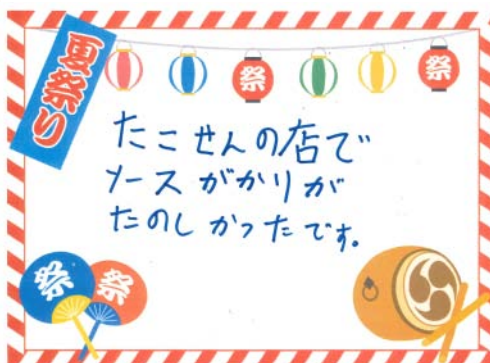
こっから・ここに夏まつり

こっから NEWS

コロナ禍にこっから祭りが中止になり、施設内で仲間が楽しめる企画をとらじまった夏祭り。すっかり年行事として定着しつつあります。

今年の目玉は「コスプレコーナー！」です。思い思いの衣装を身にまとい、会場をねり歩き。仮装は自分の気持ちもあがりますが、周りの人の反応もまた魅力ですね。意外な人の、意外なコスプレにあちこちで笑い声が聞こえてきた夏祭りでした。

(文責：杉原 郁美)



きょうされん第48回全国大会の成功に向けて

ここすた NEWS

きょうされん奈良支部利用者部会「あかつき」の会議に毎月参加し、加盟事業所の利用者ととも全国大会に向けて準備を進めてきました。

「大学生と一緒に企画できたらいいな」「みんながステージに立てればいいな」などの希望や期待を込めて話し合いを進めてきました。

大会テーマソングづくりでは「笑顔」をキーワードに歌詞を考え、作詞作曲の竹内亮太さんとともに、何度も修正を重ねました。その成果は奈良支部総会で初披露後、つながり祭、生駒どんどこ祭り、奈良のうたごえまつり、ぽかぽか祭りへと出演依頼が相次ぎ、舞台慣れをしていきました。

大会閉会式の感動のフィナーレは、「みんなで作ってきた」からこそ、涙が止まらないステージとなりました。

要綱資料集を全国2000カ所に発送する作業、夜の交流会の企画のためのロイヤルホテルに行つての打ち合わせ、大会前日の総勢80人もの人たちとの資料袋入れなど、たくさんの人とつながり、語り、成長できた大会となりました。

(文責：島 耕治)



ひまわりのスタッフから Mさんへのメッセージです。

ふゆーちゃー NEWS

シャイなMさんへ

新築のひまわりへ来たときはちょっと不安げだったよね。

食事は苦手なものが多く、魚は骨が引かかるからと食べられなかったけど、先輩お姉さんたちの声掛けや、食事の工夫で苦手を解消できたね。いつもそばに来て話をしてくれて、そのうちに配食の容器を洗ったり、お皿に盛りつけて配膳をしてくれたり。「Tさんびっくりするかなー?」「Sさんに自分がやったこと言うてなあ。」褒められたくて良いことをどんどんしてくれたね。今ではテーブルセットから片づけまで、褒められることよりも、自分で何をするのかを考えて何でもササっとしてくれていてすごいよね。

他の仲間の食事が終わるまでゆっくり食べたり、送迎の車に乗るまで待ってあげたり。あと物忘れしたときにはちゃんと教えてくれたりするね。すぎちゃんはあなたのそんなさりげない優しさが好きです。 すぎちゃんより



そうだんしつの窓から

こぶしの会相談支援センター 小針 康子

能登半島地震：2年目を迎える被災地支援の報告です。

10月26日～11月1日、きょうされんを通じて、日本障害フォーラム（JDF）能登半島地震支援センターの被災地支援を行いました。センターは30を超える通院等の移動支援希望に対応し、7か所の事業所支援も行っています。事業所の人材不足は深刻。あすなろふたばぱいんの会は、震災前3人いた職員のうち、2人が退職。すず椿は常勤10人の半数が退職。複数の放課後デイも送迎体制がとれずそのシフトにJDFスタッフが組み込まれます。この先仮設住宅からそれぞれの居住地に引っ越しがすすめば、さらに通所困難に直面します。在宅障害者の命綱～通院支援もJDFセンターが閉じた後（来年3月）現地にどう引き継ぐか模索が続きます。

度重なった豪雨災害や、半島という地理的条件、50%を超える高齢化率などに加え、復興公費が住民一人一人の暮らし再建に充てられないため、人口流失は止まりません。中山間地を抱える奈良県が被災したら…南海トラフ地震での奈良県被害想定は全壊家屋47,000棟、死者1,700人。思い巡らせながら3度目の能登入りとなりました。



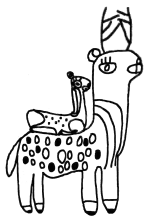
輪島市内：生活道路では未だ所々に瓦礫が出現します。



輪島朝市：いつになったら賑わいを取り戻せる？と思うしまう広大な草むら。



七尾市「ゆうの丘」の昼休み。それぞれが苦しい被災体験をくぐってきました。



きょうされん第48回全国大会in奈良 (2025年10月17日～18日)

小さな奈良支部（21会員）で大きな全国大会を奈良の地で初めて行うという方針を出したのは2022年7月でした。こぶしの会では、副実行委員長、大会事務局次長、資金作り部、運営部、企画部に要員派遣し、準備を進めてきました。

2200人の参加者のうち、障害のある人が730人。大会を支えるための資金作りではこぶしの会家族会・後援会・労働組合・個人が惜しみない協力をしてくださいました。

運営、参加者サポートでは60人近くの職員や家族のみなさんが協力しました。

「こぶしの会の総力を挙げて」という言葉通り、資金作り、大会サポートで大きな力を発揮しました。ご協力、ありがとうございました。（大会事務局次長 島 耕治）



会場入口



ボランティア受付



きょうされん専務理事 藤井克徳氏



販売ブースも大盛況でした



大会受付



せんとかんも来てくれました



大会テーマソング「まんまの笑顔を咲かせよう」



カウントダウン開始



大会の晴れ舞台上で誕生日を全国の皆さんにお祝いしてもらい感動！



来賓・マスコミ受付



大会実行委員長 越野和之氏



天平広場の様子



きょうされん奈良支部利用者部会あかつきのみなさん



うたごえサークル九官鳥と奈良蟻の会合唱団のみなさん



地元FMラジオに出演



オリジナルTシャツ



天理大学雅楽部の神秘的な演奏



天理大学雅楽部による優美な舞



天理大学創作ダンス部の迫力ある踊り



特別シンポジウム



天理大学雅楽部楽器体験



なかまの観光「柿の葉寿司作り」



大勢のボランティアさんが参加してくださいました



閉会全体会でのアピール文読み上げ練習



お弁当タイム



メインホール閉会式



グループホームひまわり 地域連携推進会議を開催しました



9月20日、今年度から義務化となった「グループホーム地域連携推進会議」を開催し、入居者・ご家族・地域のそれぞれの代表と法人職員が集まりました。障害のある人の暮らしを地域とともに支えること、またグループホーム運営の透明性向上をめざし、現状報告と意見交換を行いました。

まず、入居者と地域の関係づくりや障害理解の促進、支援の質向上、虐待防止といった会議の目的を全体で共有。続いて管理者より、入居者の生活の様子、職員体制や支援の工夫、危機管理や月1回の「仲間の声を聴く会」などの取り組みが報告されました。

意見交換では、「生活の場として、より自由に過ごせる工夫の必要性」や「相談しにくいことを話せる仕組みが大切」といった声が寄せられました。入居者からは「仲間だけで外出したい」「外食や花火を楽しみたい」という希望、ご家族からは「親亡き後の暮らしの不安」、地域からは「防災活動などへの参加も期待したい」といった意見が出されました。

参加された地域の方からは「GHの様子が分かり良かつ

た」「これを機に挨拶や交流を深めたい」「困りごとがあればいつでも声をかけてほしい」など前向きな感想が多く寄せられ、相互理解が進む機会となりました。また職員からは、これまで直接地域の方と交流する機会が無かったのがとても良い機会となったと今後の期待が述べられました。

今後は、入居者一人ひとりの“その人らしい暮らし”の実現をさらに追求するとともに、不安や不満を相談しやすい環境づくり、地域との日常的な交流の積み重ねを大切に進めていきます。12月には構成員によるGH見学会が行われ、仲間との交流を深めました。



法人全体研修報告

今年の法人全体研修は例年とは少し違いました。いつもは『仲間にどう寄り添うか』をテーマにしてきましたが、今年はあえて視点を変えて『支援者である私たち自身』にフォーカスしてきました。

8月は、山室さんの『核兵器の恐ろしさをわすれないために』でした。戦争は遠い国の対岸の火事のようにとらえがちですが、身近で働いておられる山室さんの記憶を通した言葉で聞くと「決して遠い国の話ではない」という意識を持てたのではないのでしょうか。

もう一つは私の『言葉のリフレーミング』でした。日々の捉え方や、心の癖を少し整えるだけで同じ出来事でも受け取り方が変わるというお話をしました。

そして、12月は赤尾さん、木村さんの『これが私の生きる道』人生の原点、揺れた経験、大切にしたい人、支援者としての在り方…。それぞれの生き方が語られました。

私たち支援者の内面は、想像以上に日々の関わりが仲間たちへの姿勢に反映されます。だからこそ今年一年は『我ごととして捉える』ことを大切にしてきました。誰かを支える前に、まず自分自身を丁寧に扱うこと。自分の心に気

づくこと。自分の弱さや揺れも、大事な資源として受け止めること。それを続けた先に、優しさも、強さも、余白も生まれていきます。この研修が、みなさん自身の『生きる道』を照らす小さな光になっていたら嬉しいです。これからも、支援者として、人として、それぞれのペースで歩いていきましょう。

(文責:研修委員 城本 知美)



今年も、たくさん食料品等の寄付を
いただきありがとうございました!



ひまわりにお掃除ロボットを
寄贈していただきました。



「東市まほろbo」様

2月に、株式会社カーブスジャパン各店舗様（イオンタウン天理店・アルプラザ木津店・JR奈良店・ビック大安寺店・ガーデンモール木津川店 順不同）よりフードドライブの活動として今年もこぶしの会へ、食料品等のご寄付をいただきました。

寄贈いただいた食料品等はこぶしの会の日中・居宅事業所で調理活動や食事の為の食材として、また地域の子ども達の第三の居場所「東市まほろbo」様にもご提供し、大切に活用させていただきます。いつも沢山のご寄付をありがとうございます。

※フードドライブとは、ご家庭にある食品を募り、最寄りの福祉施設へお届けするボランティア活動です。カーブス様では2007年にスタートし、今回で18回目になりました。



6月に、ひまわりに来てくださっているスタッフの杉本さんと有志の方々から「ひまわりのお掃除に役立ててください。」とお掃除ロボットを1台寄贈していただきました。白いボディとゴミを集める長いブラシの感じがイカに似ているということで一部の人からイカちゃんという愛称で呼ばれています。稼働しているときはみんなから「ありがとう。」「頑張って!」と声をかけられています。もう少し使いこなせるように設定など勉強します。ありがとうございました!

2024年度 決算公告

社会福祉法人 こぶしの会

貸借対照表

2025年3月31日現在

単位：千円

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	172,145	流動負債	20,150
現金預金	129,564	その他の未払金	417
未収金	40,668	未払費用	2,359
貯蔵品・原材料	882	1年以内返済借入金	12,580
他流動資産	1,031	他流動負債	52
固定資産	413,713	賞与引当金	4,742
基本財産	327,264	固定負債	132,995
土地	130,075	設備資金借入金	132,995
建物及び附属設備	197,189		
その他固定資産	86,449	負債の部合計	153,145
建物及び附属設備	1,243		
構築物	22,448	【純資産の部】	
機械及び装置	0	基本金	50,840
車両運搬具	3,029	第1号基本金	50,840
器具及び備品	3,495	国補等特別積立金	60,825
無形固定資産	1,779	その他の積立金	44,600
工賃変動積立資産	500	次期繰越活動収支差額	276,449
人件費積立資産	1,500	次期繰越活動収支差額	276,449
設備等整備積立資産	4,000	(うち当期活動収支差額)	(23,378)
修繕費積立資産	22,600		
借入返済積立資産	16,000	純資産の部合計	432,713
差入保証金	100		
他固定資産	9,755	負債及び純資産の部合計	585,859
資産の部合計	585,859		

資金収支計算書

自：2024年4月1日 至：2025年3月31日

単位：千円

	予 算	決 算	差 異
【事業活動による収支】			
就労支援事業収入	23,050	20,937	2,113
自立支援給付費収入	222,970	236,568	-13,598
利用者負担金収入	23,570	23,217	353
補正給付費収入	3,000	3,000	0
その他の事業収入	817	1,518	-701
経常経費寄附金収入	1,000	1,095	-95
受取利息配当金収入	0	93	-93
その他の収入	1,947	2,919	-972
事業活動収入計	276,354	289,347	-12,993
人件費支出	189,160	183,805	5,355
事業費支出	29,623	28,817	806
事務費支出	23,222	20,912	2,310
就労支援事業支出	23,050	20,501	2,549
支払利息支出	435	435	0
その他の支出	0	0	0
事業活動支出計	265,490	254,470	11,020
事業活動資金収支差額	10,864	34,877	-24,013
【施設整備等による収支】			
施設設備等補助金収入	100	100	0
施設整備等寄附金収入	0	35	-35
固定資産売却収入	0	291	-291
施設整備等収入計	100	426	-326
設備資金借入金元金償還支出	12,580	9,580	3,000
固定資産取得支出	12,310	11,531	779
施設整備等支出計	24,890	21,111	3,779
施設整備等資金収支差額	-24,790	-20,685	-4,105
【その他の活動による収支】			
その他の活動収入計(7)	3,320	3,667	-347
その他の活動支出計(8)	21,270	21,267	3
その他の活動資金収支差額	-17,950	-17,600	-350
予備費	195	0	195
当期資金収支差額合計	-32,071	-3,408	-28,663
前期末支払資金残高	171,923	171,923	0
当期末支払資金残高	139,852	168,515	-28,663

Instagram 2025年 いいねTOP3

こぶしの会ではInstagramを通じて日々の様子をお届けさせていただいております。
2025年もたくさんの素敵な瞬間がありましたので、反響の大きかった投稿をご紹介します
いただきます

- TOP1** こっから&ここに夏祭り!! (いいね 55)
TOP2(同率) わたSHIGA輝く障スポ金賞2冠!! (いいね 46)
TOP2(同率) 田原の稲刈りイベントに参加!! (いいね 46)
TOP2(同率) こっからの7月の給食にハンバーガー!! (いいね 46)
 みなさん、いつも温かく見守ってくださりありがとうございます。
 今年もどうぞよろしくお願いいたします。



表・紙・解・説

- 絵のタイトル：
 「くじゃくのような…」
 ■作者：中尾 照世さん
 色を分けて変えて描
 いたらいい感じになり
 ました。
 鳥を描こうと思って
 くじゃくをえらびまし
 た。



フチをめるのが難しかったけど、みんなが見て喜んでくれるかなあ。



今年もグループホームのクリスマス会を行いました。今回は2年ぶりにひまわり、ぐうぐう、すまいるの3ホームで合同のクリスマス会です。場所はこっからの食堂を借りて、和気藹々とスタッフも含めると総勢40名。減多に全員揃うことがないので圧巻です。ホーム毎に歌を歌ったり、踊ったりクリスマス盛り上げて、クライマックスには大小様々のサンタやトナカイが現れてプレゼントタイム。あっという間のパーティーでした。また来年もサンタさん待ってま〜す。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。ところで「こぶし通信vol.62」2025年度発行が、大幅に遅れてしまいました。本来、年3回の発行を予定しておりますが、お伝えしたい出来事や思いが多くありながら、形にするまでに随分時間がかかってしまいました。日頃よりこぶしの会の活動を応援してくださっている後援会の皆さま、関係者や地域の皆さまには、心よりお詫び申し上げます。定期的にお伝えすべき活動報告の不備を深く反省するとともに、今後はより丁寧な情報発信に努めてまいります。何卒ご理解と引き続きのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。改めまして今回の特集記事は昨年10月に奈良で初めて開催された「第48回きょうされん全国大会」です。きょうされんとの関わりは37年前の無認可共同作業所運動に遡り、「仲間が主人公」という理念や、「事業・実践・運動」という3つ

の柱、そして「社会福祉は権利である」という考え方は、こぶしの会の活動において常に私たちの心の支えでした。そんな意義深い大会を無事成功させることができたのは、奈良支部事務局役員・加盟団体職員の頑張り、と、数多くのボランティアの皆さん、そして全国の他府県支部・法人・施設の方々のご協力の賜物です。さらに大会資金づくりでは、きょうされん加盟以外の障害者団体、法人、施設の皆様が組織の枠を越えて支えてくださいました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。2025年を振り返ると、たくさんの出会いと同時に、いくつもの大切な別れがありました。その一つひとつが、今のこぶしの会を形づくっています。新しい年度も、人とのつながりを大切にしながら、仲間とともに前を向いて歩いていきたいと思っています。2026年も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。(文責：古木一夫)

こちらも
ご覧ください

<http://kokkara.jp/>

・ネットショップ ・活動ブログ
 ・ニュースブログもお楽しみ下さい。



こっから facebook